

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
339	滋賀医科大学福祉保健医学講座
<b>題名 (原題/訳)</b> Joint use of clinical parameters, biological markers and CAGE questionnaire for the identification of heavy drinkers in a large population-based sample 臨床指標、生物学的マーカーと CAGE 質問票の総合使用による大規模住民の中からの重症アルコール多飲者の同定	
<b>執筆者</b> Bataille V, Ruidavets JB, Arveilier D, Amouyel P, Ducimetiere P, Perret B, Ferrieres J.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Alcohol Alcohol. 2003 Mar-Apr;38(2):121-7.	
<b>キーワード</b> 多量飲酒者、フランス、CAGE、同定プログラムモデル	
<b>要旨</b> <p>(背景) フランスは世界有数のアルコール飲料消費国である。アルコール多飲に関連する因子は無数にある。しかし現存する臨床指標、生物学的マーカーを個別に用いただけでは多飲者を同定することはできなかった。本横断研究の目的は多飲者の関連する社会・人口学的因子、臨床指標、生物学的マーカーを見つけ、多飲者判定方法を確立し、またその信頼性を検討し、最終的には多飲者同定を可能とすることである。</p> <p>(方法) Lille, Strasbourg, Toulouse のフランス 3 地域在住の選挙者名簿から無作為抽出された 35~64 歳の男性 1,619 人、女性 1,559 人が対象。社会・人口学的状態、生活習慣、自己申告アルコール摂取量、アルコール依存に関する CAGE 質問票 (CUT, ANNOY, GUILTY, EYE-opener に由来) の各変数を収集した。血液標本も採取した。1 日に 60 g 以上のエタノールを摂取する男性と 1 日に 30 g 以上のエタノールを摂取する女性を多飲者とした。非飲酒者と適度飲酒者を統合して基準として比較検討した。対象は解析のために 2 つのサブグループにわけた。第 1 グループはロジスティック解析 (多飲者とその他) でパラメーター値を評価するために用い、第 2 群は多飲者を同定するプログラムモデルの精度を ROC (receiver operating characteristic) 曲線 (false positive rate を x 軸に、true positive rate を y 軸に描く曲線で、曲線下の面積が大きいほど精度が高い) にて検討するために用いた。男女別に解析した。</p> <p>(結果) 男性の 14%、女性の 40.8% が非飲酒者で、男性の 14.4%、女性の 9% が多量飲酒者であった。最も飲まれた酒種はワインであった。単変量解析ではほとんどの指標が 2 群間で異なっていた。多変量解析では低学歴、喫煙、アポ B タンパク値、HDL 値、赤血球 MCV、<math>\square</math>GTP と CAGE スコアが男性で独立因子として多量飲酒と関連し、女性では居住地域、年齢、MCV、<math>\square</math>GTP と CAGE スコアが独立因子として関連した。これらの指標を総合して作成したモデルプログラムを精度評価すると男性では ROC 曲線下面積が 82%、女性では 79% であった。</p> <p>(結論) 本研究では社会・人口学的因子、臨床指標、生物学的マーカーが独立に多量飲酒と関連し、これらを総合利用したモデルプログラムによって多量飲酒者を同定することが可能である。</p>	